

取扱いの趣旨

一般的には、歯周病安定期治療の対象となる歯周病の治療としては、スケーリング・ルートプレーニング又は歯周ポケット搔爬が必要であることから、スケーリング（再スケーリングを含む。）のみを実施した場合の歯周病安定期治療の算定は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【処置】 《平成29年8月28日》

52 歯周病安定期治療（Ⅰ）及び歯周病安定期治療（Ⅱ）

○ 取扱い

原則として、「P」病名に対して、スケーリング（再スケーリングを含む。）のみを実施した場合における歯周病安定期治療（Ⅰ）及び歯周病安定期治療（Ⅱ）の算定は認めない。

○ 取扱いを定めた理由

歯周病安定期治療は、スケーリング・ルートプレーニング又は歯周ポケット搔爬後の歯周病検査又は歯周外科手術等を行った後の歯周病検査の結果、一部に深い歯周ポケットや根分岐部病変が残存しているため歯周組織の健康は回復していないが、病変の進行は停止している状態において必要であるとされており、一般的には、歯周病安定期治療の対象となる歯周病の治療としては、スケーリング・ルートプレーニング又は歯周ポケット搔爬が必要であると考えられる。

○ 留意事項

全身状態等によりスケーリング・ルートプレーニング又は歯周ポケット搔爬が実施できない特段の理由がある場合においては、個々の症例により適切に判断する必要がある。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

歯周病安定期治療を算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（Pに対してスケーリングのみを実施し歯周病安定期治療を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、歯周病安定期治療が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

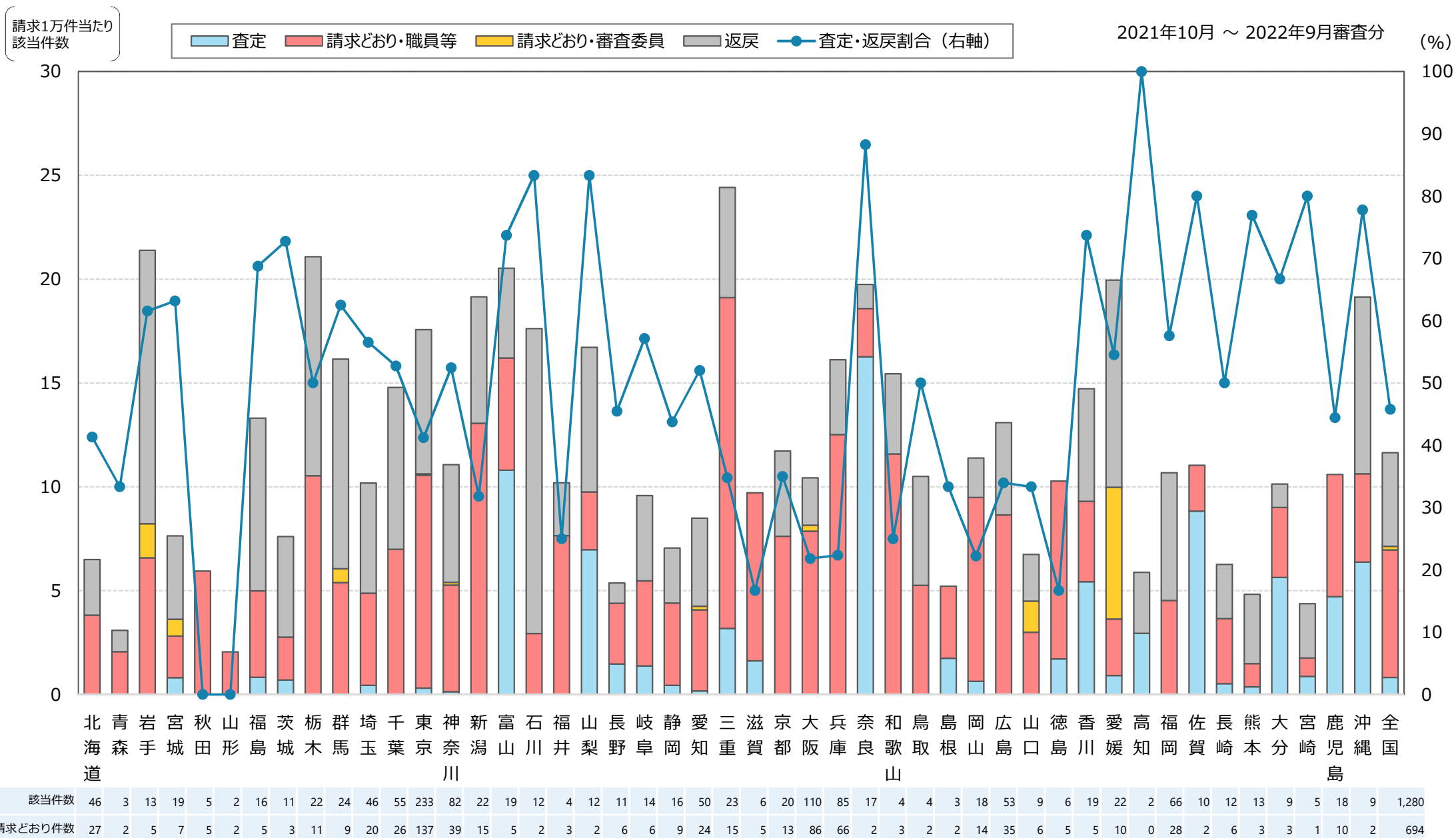
審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 45.78%
- 検証を必要とする都道府県 45

検証観点	検証を要する都道府県	備考
査定・返戻割合が低い都道府県	秋田、山形、滋賀、徳島、大阪、岡山、兵庫、福井、和歌山、新潟、青森、島根、山口、広島、三重、京都	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員等	三重、新潟、兵庫、和歌山、栃木、東京、岡山、広島、徳島、滋賀、大阪、福井、京都、千葉、岩手、秋田	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	愛媛、岩手、山口、宮城、群馬、大阪、愛知、神奈川、東京	〃
該当件数（全国）	Pに対してスケーリングのみを実施し歯周病安定期治療を算定	1,280件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	586件
検証を必要とする審査	請求どおり	694件

事例52 「P」に対してスケーリングのみを実施した場合の歯周病安定期治療の取扱い

【認めない事例】



【該当件数】 Pに対してスケーリングのみを実施し歯周病安定期治療を算定しているレセプト件数